

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (563), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for 28, 29, and 30 fiscal years.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	564	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育内容の充実 個別事業 世代間交流事業の促進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.2人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 6,260千円 (うち人件費 1,760千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 (計画名) 子ども総合計画・第5次健康福			
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。		事業目的	都市化、核家族化により園児が3世代の交流を経験することが減っている中、高齢者福祉施設との相互交流や地域のお年寄りとの交流を通じて世代間のふれあい活動を行う。					
(3) 事業内容	内容	高齢者福祉施設(ケアプラザ寿、和楽園、アクイール、根戸デイサービス)への訪問、保育園に高齢者を招待し、交流を行う。また、地域の高齢者や自治会を保育園行事に招待し園児との交流を図る。		当該年度執行計画	高齢者福祉施設のお年寄りとの交流 ・寿保育園：ケアプラザ寿・湖北台保育園：和楽園 ・つくし野保育園：根戸デイサービスセンター 地域の高齢者や近隣の自治会、老人会等との交流					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	人	想定値	490	
当該(開始)年度	高齢者施設との交流会を中心とした活動を通して、園児と高齢者のふれあいを推進する。			間接	高齢者参加人数	人		実績値	485	
3年後	自治会のお年寄りなど地域の方とのふれあい活動も増やしていくことで、園児とお年寄りのふれあいを推進する。			間接	高齢者参加人数	人		実績値	0	
最終(概ね5年後)	地域のお年寄りや定期的なふれあい活動を実施し、世代間交流を推進する。			間接	高齢者参加人数	人		実績値	0	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成28年度		平成29年度			平成30年度		平成31年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
		交流先と保育園との調整	0		交流先と保育園との調整 保育園地域活動事業 (私立保育園への補助金) * 保育園地域活動事業 (私立保育園への補助金) * 緑保育園 * 東あひこ保育園 * 天王台なほ保育園 * ミルキーホーム天王台園	2,500			交流先と保育園との調整 保育園地域活動事業 (私立保育園への補助金)	4,500
						500				0
						500				0
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	0	合計	4,500	合計	4,500	合計	4,500	
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		0		4,500		4,500		4,500	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.2		0.2		0.2		0.2	
	正職員人件費		1,760		1,760		1,760		1,760	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		1,760		6,260		6,260		6,260	
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		3.59千円/人	12.78千円/人						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討	
	都市化や核家族化により子ども達が高齢者と交流する機会が減少している。このため、地域の高齢者とのふれあいを通じて世代間の交流を図ることが必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			高齢者施設と連携し実施している。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容					実施した具体的な内容	環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし									○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	485	490	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	7.83		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (570), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (572), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (573), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed financial data for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1)事業が必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, and (7)目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns for 評価 and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	577	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育内容の充実 個別事業 障害児保育・統合保育事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・保育課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成20年度 ~		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.24人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 30,111千円 (うち人件費 2,112千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 第3次保健福祉総合計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	待機児童ゼロを堅持するため、保育園や学童保育室など計画的に整備するとともに、多様な保育ニーズを踏まえながら、保育サービスの質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てをともに支える体制を整備します。			事業目的	保育に欠ける障害児及び統合保育対象児童の受入れによって、障害児と健常児のふれあいを通じて心身の発達を図る。				
(3) 事業内容	内容	心身に障害を有する児童で、保育に欠ける場合は、療育専門委員会を開き障害児の状態などを話し合い入園の可否を判定する。集団保育が可能と判断された児童は、児童の状態と保護者の意向を取り入れ、保育園での保育を実施する。また、統合保育として、心身に障害を有する児童で、就学前の集団保育を経験することが望ましい児童についても保育園での保育を実施する。			当該年度執行計画	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい児童の障害児保育・統合保育を実施する。				
		当該年度活動結果指標	保育園利用可能者数		単位	人	想定値	20		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。			直接	入園児童数	人	16	20		
3年後	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。			直接	入園児童数	人	0	20		
最終(概ね5年後)	障害児保育のための保育士研修を行い、集団保育が望ましい入園児童の障害児保育・統合保育を実施する。			直接	入園児童数	人	0	20		
(7) 事業実施上の課題と対応	障害児保育・統合保育を実施するための保育士の確保が困難になってきている。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		臨時職員賃金(障害児保育士)	32,264	臨時職員賃金(障害児保育士)	11,523	臨時職員賃金(障害児保育士)	11,523	臨時職員賃金(障害児保育士)	11,523	
		私立保育園運営費補助金	7,118	私立保育園運営費補助金	7,118	臨時職員賃金(統合保育士)	4,610	臨時職員賃金(統合保育士)	4,610	
						私立保育園運営費補助金	11,866	私立保育園運営費補助金	11,866	
予算(済)額	合計		合計		合計		合計			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 33%	1,581	補助率 33%	2,767	補助率 33%	2,767	補助率 33%	2,767	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		37,801		25,232		25,232		25,232	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.24		0.24		0.24		0.24		
	正職員人件費	2,112		2,112		2,112		2,112		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		23,047		23,047		23,047		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	41,494		30,111		30,111		30,111		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,074.7千円/人		1,505.55千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討		
	心身に障害を持つ児童の子育ては、保護者の精神的負担もあり、保育ニーズが多い。また気になる子は、他の児童とふれあう機会も少なく、気になる子を集団生活や地域のふれあいによって健やかに育むことが求められている。さらに、近年、気になる子(障害児等)が増加傾向にある。このような状況に対応するためには、公立保育園における気になる子の保育の提供、私立保育園における障害児保育の支援は必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要		
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし								参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容					実施した具体的な内容		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし								環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック					達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	16	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である					実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策					実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>					実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法					達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	0.07		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費					実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	1899	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	保育園・幼稚園の放射能対策		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	子ども部・保育課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度			⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.24人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	41,023千円		当該(開始)年度	(当初)	2,208千円 (うち人件費 2,112千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携して対策を実施する。また、保育園・幼稚園における放射線量の低減化を図る。			事業目的						
(3) 事業内容	内容	保育園及び幼稚園において実施している空間放射線量の測定の結果、市が定めた放射線量低減策を実施するための基準（空間線量0.23マイクロシーベルト/時）を超える場合に、園庭表土の削り取り、砂場の砂の入れ替え、建物の洗浄等放射線量低減化対策を実施する。さらに、保育園が提供する給食の安全を確保または確認するため、食材検査を実施する。			当該年度執行計画	全保育園及び幼稚園において、学期に一度の割合で空間放射線量の測定を実施。測定の結果、市が定めた基準を超える場合は除染対策を実施する。また、保育園で提供する給食の安全を確保または確認するため、給食食材検査を定期的に行う。					
		当該年度活動結果指標	市が定めた基準を超える園の放射線低減化対策の実施率		単位	%	想定値	100			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	基準値を超える園の放射線低減化対策を実施する。			直接	基準値を超える園の放射線低減化対策実施率		%	100	100		
3年後				-				0	0		
最終(概ね5年後)				-				0	0		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	市立保育園給食検査食材購入費	144	*	市立保育園給食検査食材購入費	96				
		*	市立保育園放射線量低減対策工事費	350							
		*	私立保育園放射線量低減対策工事費	350							
予算(済)額	合計		1,194	合計		96	合計		0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源		1,194		96		0		0		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.19		0.24		0		0			
	正職員人件費	1,672		2,112		0		0			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	2,866		2,208		0		0			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	28.66千円/%		22.08千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))					改善検討
	福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染が市内に影響を及ぼしている。児童の健全な成長を考えると、児童が受ける放射線量を少しでも低減する必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> その他								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> その他								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である			実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	4.53	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費			実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1940), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (2118), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (現状, 拡充, 縮小, etc.) and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (2204), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (567), 課コード (1703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 評価 (Overall status: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他), 改善案及び展開方向 (Improvement cases and expansion directions).